

公明党 横浜市会ニュース 第76号

VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

3 地域ケアプラザに、新たに「生活支援コーディネーター」を配置するなど、地域での生活支援・介護予防の基盤整備を進めます。



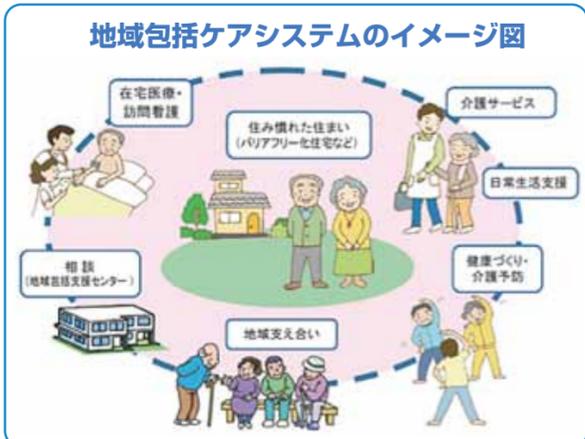
2 認知症初期集中支援チームを市内に計6か所設置することで、早期診断・早期対応に向けた支援体制を強化します。



1 介護予防に取り組む活動（元気づくりステーション）の新規立ち上げ等の支援を行うことで介護予防を推進します。

地域包括ケアシステムは、重度な要介護状態になっても、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく日常生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・生活支援などが一体的に提供できる仕組みです。28年度は次のような取り組みが進められます。

平成28年度 予算に公明党の主張が大きく反映！ 地域包括ケアシステムの実現



4 特別養護老人ホームの入所申し込みの一括受付や施設・住まいに関するサービス情報を一元的に集約し、個別相談・情報提供を行うなど、高齢者施設・住まいの相談センター運営事業を推進します。

未就学期から学齢期までの子ども子育て支援
待機児童解消に向け、必要な保育所や幼保連携型認定こども園の整備等により、2千543人の受け入れ枠を拡大します。
また賃貸料の補助の一部拡充や、マンション内保育室の整備など、保育所整備事業を進めます。

平成28年度中に全中学校にて「ハマ弁」実施
わが党が平成10年から提案してきたスクールランチが、栄養バランスのとれたぬくもりのある中学校昼食「ハマ弁」として、28年度中に全市立中学校146校でスタートします。
ごはん・おかず・汁物の3点セットが390円で提供されます。ごはんは汁物は温かい状態で、また、ごはんの量、おかず、汁物、牛乳は選択できるなど、食育の視点や個々の生徒の発達等に対応できるものになります。
夏休み前に10校程度の学校で実施し、その結果を踏まえ必要な見直しを行い、29年1月までには全ての学校で開始する予定です。



望月やすひろ通信 市政報告 Vol.33



横浜市議員(港北区選出) 望月やすひろ

平成28年第1回定例会の論戦から

予算代表質疑
救急相談センターと各区の地域包括ケアシステム構築について
救急相談センターについて質問しました。
林市長は「急病やけがの際に、受診の必要性や受診機関を身近な電話相談で案内することで安心感につながる。また、適切なアドバイスにより安心して救急受診をせず済む」と答弁しました。
各区の地域包括ケアシステム構築について質問しました。
市長は「地域の状況把握をもとに地域づくりを推進してきた各区の経験を踏まえ、全区に地域包括ケア推進担当係長を配置し、地域や区医師会等と連携強化する」と答弁しました。

予算関連質疑
保育士処遇の積極的改善と高齢者移動支援バスモデル事業について
保育の質の確保のため、保育士処遇改善を積極的に実施すべきと質問しました。
林市長は「保育士が誇りと自信を持って長く働き続けていただくよう、国の処遇改善や人件費の加算に上乗せして、継続して支援する」と答弁しました。
また、高齢者等移動支援バスモデル事業の基本的な考え方について質問しました。
市長は「車両は10人乗り程度を想定し、利用料金は無料を前提としている。そして、一定の年齢以上の高齢者を対象にすることを考えている」と答弁しました。

議案関連質疑
教職員の環境変化に対する制度の対応
国の仕組みの下、市立小中学校などの教職員給与等は県費で負担され、採用などは市で行うという「ねじれ」状態が続いてきた。
平成29年度には権限・財源が県から市へ移管されるものの、県市で異なる勤務条件などの整理が必要。出産育児に係る制度では県の方が充実しているものもある。
そこで、市費移管によって制度が後退してはならないと質問しました。
岡田教育長は「制度設計にあたり教職員のモチベーションが下がらないよう検討する」と答弁しました。

総合審査
国連人間居住会議「HABITAT(ハビタット)2016」について
ハビタットは20年に1回開催される国連会議であり、都市の重要な課題がテーマとなることから、横浜市として居住に関する水や環境などの様々な支援や技術のアピールのために、積極的に参加すべきと質問しました。
林市長は、「横浜市のシティーネットやYポートはハビタットの考えと合致しており、絶好の機会とらえて世界にアピールしていく」と答弁しました。



横浜市はベトナム・ダナン市と「都市間協力の覚書」を締結、支援をします

横浜市コールセンター ~便利な暮らしの情報ガイド~

Tel.045-664-2525 Fax.045-664-2828

●時間/8:00~21:00 (土・日・祝日を含む毎日) ●Eメール/callcenter@city.yokohama.jp